

令和8年1月28日

アジア・アジアパラ競技大会フレンドシップ事業

座位バレーボール体験



発行所

常磐南小学校

電話 46-2005

FAX 46-2048

— 第 65 号 —

2026.2.24



奇祭『鬼祭り』

校長 林 幸康

三河路に春を呼ぶ天下の奇祭、滝山寺の『鬼祭り』が、今年も多くの人々の熱気に包まれて行われました。常磐地区に勤務するようになってから、この祭りが、身近な地域の方々や子どもたちが守り伝える日本の伝統文化であることを肌で感じるようになりました。

この祭りの歴史は、源頼朝公の祈願に始まると伝えられています。一時は中断の危機に瀕しながらも、江戸時代には徳川家光公の手で幕府の行事として再興されました。また、明治の荒波で、再び中断の危機に直面した際は、当時の滝村の住民たちの強い熱意によって乗り越えました。八百年という気の遠くなるような時間を繋いできたのは、他でもない、この地に生きる人々の郷土への誇りです。

節分の「鬼は外」という言葉から、鬼は追い払う存在という印象が強いかもしれませんが、しかし、滝山寺の鬼は、邪気を祓い、人々を守る「鬼神」とされています。「冠面者」と言われる鬼の面をかぶった三名が祭りの主役であり、古くは宗教的な修行者が、その役を担ってきました。近年では「祖父面」「祖母面」は地元の成人男性から、「孫面」は常磐小学校の男子児童から選ばれています。また、常磐中学校の生徒は鬼の顔をかたどった土鈴を製作し、『鬼祭り』で販売しています。さらに、常磐南小学校の児童を含め、松明を手に祭りに参加する地元の子どもたちもたくさんいます。地域と学校がともに祭りを支え、子どもたちがその一員として誇りをもって関わっている姿は、とても頼もしいものです。

本校にも、伝統の自然薯栽培や和太鼓、雅楽演奏といった活動があります。八百年の歴史には及びませんが、これらもまた、地域の皆様の支えなしには一日たりとも続けられなかった大切な伝統です。今回『鬼祭り』の歴史に触れ、改めてこの地域の素晴らしさを強く感じました。先人たちが繋いでくれた伝統の灯を絶やすことなく、これからも地域と共に歩んでいきたいと思っています。

ときなん祭クラブ発表会

三年間続けてきた力

六年

ぼくは、和太鼓クラブでこれまでの三年間、一生懸命練習してきました。技術面では、太鼓のたたき方や、かまえ、声出しなど、基本のことから曲を演奏するところまで、講師の先生方に教えてもらい、小池先生には、演奏の心構えを教えてもらってきました。ときなん祭に向けてたくさん練習を重ねてきて、本番では、三年間の練習の成果を発揮できるように全力で演奏しました。たくさんさんの拍手をもらえてうれしかったです。和太鼓クラブを続けてきて、努力が実ってよかったです。

魅力ある音楽クラブ

六年

わたしは今までの三年間、龍笛をふいてきました。音を出すのが難しい楽器だったけれど、今では音も出るようになり、『越殿楽』という曲も全部ふけるようになりました。音楽はめずらしい楽器が多くあって、そして難しい楽器しかないクラブに入って気付きしました。でも、講師の先生方は優しいし、練習をすればきれいに音を出すことができるので、そこが音楽クラブの魅力だと思います。この伝統を下学年に受け継いでいってもらい魅力を知ってもらえるとうれしいです。



絵を描くことが大好き

六年

私がイラストクラブに入ったのは、三年生のときの担任の先生が絵がとて上手な先生で、私も上手に描けるようになりたい！とあこがれたことがきっかけです。イラストクラブはとても楽しくて、仲間と仲良く活動することができました。四年生の頃は絵が下手で、思い通りにならないうことが多かった。でも、たくさん描いていく内に上手になっていき、絵を描くことが大好きになりました。ときなん祭では、いろいろな人に絵を見てもらえてよかったです。

最高のダンス

六年

ぼくたちは、今年が最後のダンスなので、「最高の演技で楽しくやる」をめあてに練習をしてきました。曲が決まった時は、振り付けが難しくてなかなか覚えることができなかったし、あきらめかけたけど、仲間と励まし合い、何度も練習をして覚えることができてよかったです。本番はきん張っていたけれど、みんなと決めためあてを思い出して最後まで踊り切ることができました。最後のときなん祭で息を合わせた一番のダンスができてよかったです。

思い出のプログラミングクラブ

六年

ぼくは、舞台の上でとてもきん張していました。自分のしゃべる番になって、結局どきどきは止まらず、かんでしまったところもありましたが、一生懸命説明し、最後まで話しかることができてよかったです。その後は、家族にぼくが作ったゲームで遊んでもらいました。お母さんがだんだん上手になってクリアしてくれてうれしかったです。プログラミングクラブでは、プレイする人が楽しいと思うゲーム作りを目指して工夫を考え、仲間と協力して活動することができて、とても楽しい思い出になりました。



たいこはドンドンドン

四年

たいこをたたくと、手がビリビリするよ。たいこをもっとたたくと、メガネがポンポンするよ。たいこをもっともっとたたくと、体があつたかくなるよ。

大勢の人の前でたいこをたたいたよ。ぼくの前でたつくんが大きなたいこをたたいているんだ。ぼくは、たつくんを見ていっしょにたたいているんだ。たつくんのたいこは大きいから大きな音がするよ。ぼくのたいこは小さいけど高くてきれいな音がするよ。

ぼくはたいこをドンドンドンとたたいたよ。たのしかったよ。

ときなん祭を見て

三年

一番心にとったのは、和だいのクラブのえんそうです。和だいの音ははく力があって、体にひびいてきてすごいと思いました。来年、わたしは和だいのクラブに入りたいと思います。ときなん祭はクラブ発表会で、ダンスも、がくも、イラストもプログラミングも、みんな練習のせいかが出ていたと思いました。

ときなん祭はすごい行事だと思います。

座位バレーボール体験

座位バレーボール体験をして

六年

座位バレーボールをやってみて、座りながらだとボールをスムーズに受けることもパスすることもできず、動くことすら難しかったです。それなのに選手の田中さんは、正確なパスをし、素早く動いて、たくさん練習や工夫をしたんだなと思いました。「失われたものを数えるな。残されたものを最大限に活かせ」という言葉を、田中さんから教えてもらいました。左足を失いながらも、今残っている力で、何ができるか考えて行動した田中さんはすごいです。ぼくも自分のもっている力を活かして行動できる人になりたいと思いました。



委員会活動

大縄大会に向けて

五年

体育委員会で、「ザときなんのわ大縄大会」という企画を考えました。みんなルールを決め、役割分担をして準備を進めました。

私は一位のチームにプレゼントするためのメダルを作ったり、ルールの説明のときに見せる資料を書いたりしました。大縄大会の練習期間中は、練習開始と終了のアナウンスを流したり、とんだ回数を数えたりする係に取り組みました。準備は大変でしたが、委員会のみんなで協力して進めることができてよかったです。楽しそうに大縄をしているチームがいっぱいで、企画してよかったなと思いました。

楽しい放送をとどけるために

五年

私は放送委員で、給食の時間に流す企画を考えてさつえいをしました。みんなに楽しんで見てもらうことを一番に考えて企画をしました。さつえいでは、低学年の子にも分かりやすくすることを意識しました。どうしたら内容が伝わりやすいか、メンバーと話合って説明を工夫しました。また、話すときはゆっくりはきはきと話すことを心がけました。

この企画が放送される日は、給食

の時間がいつもより楽しい時間になるといいなと思います。今からとても楽しみです。

図書委員でがんばったこと

五年

読書週間でみんなが楽しんで本を読んでもらえるような企画を考えました。低学年から高学年までが楽しめるものは何か、四、六年生の図書委員で相談し、「ブックモンスターをたおせ!」という企画に決めました。ブックモンスターを考えたり、ルールを考えたりして進めていきました。ビブリオバトルでは、クイズを入れることでみんなを引き付けられる発表になるよう練習しました。読み聞かせの方を参考にしながら、気持ちこめて話の一部分を読みました。この企画をしたことで、全校のみんながもつと本を読みたいと思ってくれたらうれしいです。



※前号で不備がありました。大変申し訳ありませんでした。再度掲載させていただきます。

校内書き初め展

【二年】

金賞
銀賞 坂

【二年】

金賞
銀賞

【三年】

金賞
銀賞

【四年】

金賞
銀賞

【五年】

金賞
銀賞

【六年】

金賞
銀賞

【硬筆の部】

入選

三年
四年
五年
六年

常磐南学区グランドゴルフ大会

◆日時 一月二十四日（土）
◆参加者 グランドゴルフクラブ十五名
大人三十名 子ども五名

今年も、スポーツ振興会主催によるグランドゴルフ大会が開催されました。チームリーダーは、グランドゴルフクラブの皆さんです。試合が始まれば、大人も子ども真剣勝負。なんとホールインワンも続出しました。寒い中でしたが、チームに分かれて熱い戦いが繰り広げられました。

【個人の部】一位
二位
三位

来年度当初の予定



【四月】
○入学式準備（新六年）… 七日（火）
○令和八年度入学式・始業式
… 八日（水）
○給食開始
… 十三日（月）
○授業参観・PTA総会・引渡し訓練
… 十八日（土）
○全国学力・学習状況調査（六年）
… 二十三日（木）
※今後、変更の可能性があります。

おめでとう

○人権を理解する作品コンクール
標語の部

【奨励賞】 五年

習字の部

【奨励賞】 四年

五年

○第六十一回市読書感想文コンクール

【入選】 一年

二年

三年

四年

五年

六年

○第三十七回読書感想文愛知県コンクール

【優良賞】

四年

○第三十七回市読書感想文コンクール

【岡崎南ライオンズクラブ会長賞】

四年

【入選】

一年

二年

三年

四年

五年

六年

○第三十七回リトルアーティスト

絵画コンクール

【銀賞】

【入選】

四年

五年

六年

常南の心

ときなんに咲く 花言葉

三年担任

校庭を見渡してみると豊かな自然の中に美しい花を見つけることができる。二月の空気はまだ冷たく、希望の池に分厚い氷が張る日もある。しかし、そんな寒さの中でも凛と咲き続ける花を見ると何か元気をもらえる。

花には花言葉がある。わたしは、その意味や由来について、つい調べてみたくなる。その言葉の意味を知ると花を見る時間が少し特別になり、その花に込められた思いや、美しさの理由に気付くからだ。また、その言葉は、誰かに優しい気持ちを届けたいときにも寄り添ってくれる「心の手紙」のような存在だと思っている。

今、玄関を彩っている赤いハートのようなアンズリウム、花言葉は「情熱」。白いアンズリウムは「熱心」。今年度、毎日力いっぱいがんばってきた子ども達を、新しい学年に向かって前向きになっている気持ち、そっと応援してくれているように感じる。

校庭に咲く梅は「忍耐」「強さ」。寒い中でもほころぶその姿は、この一年間、毎日コツコツがんばってきた子ども達の姿に重なる。目に見えない努力も、ちよつと我慢した日も、心の中に少しづつ、自分を支える力となつて積み重なっているのだろう。

ピオラは「誠実」「信頼」「小さな幸せ」。黄色、白、青、紫…小さな花だが、たくさん集まって咲いていると、明るい笑顔のように見えてきて、自然と笑顔になれる。

ある本に「花言葉は、花を見たときに心の中に生まれる優しい気持ちを言葉にしたもの」とあった。花の言葉に耳をすませると、がんばっている自分をほめたくなったり、誰かに優しくしたくなったりする。だから、私はこれからも花言葉を大切にしたいと思う。
花たちの優しい言葉が、皆さんの心に届きますように。



31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
		岩谷観音御開帳				春休み	修了式 一斉下校 11時30分	三時間授業 一斉下校 11時45分		六年ファイナルウォーク	春分の日	卒業式・お別れの式 12時30分 8時45分頃下校	給食終了 卒業式準備（午後） 12時30分 13時35分下校 4時5分 14時45分下校		卒業式予行 五時間授業 一斉下校			← 通学班引継会 （一斉下校時）				保護者会（希望制） 五時間授業 一斉下校			卒業を祝う会⑤ 体育館ワックスかけ	全校遊び 一斉下校			五時間授業 一斉下校	月曜集会 通学班会 大掃除